

# 直近のリバランスと優良好配当株の見通し：投資の原点

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)  
追加型投信／国内／株式

2022年2月25日

- 「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」の主要投資対象である優良好配当・日本株式マザーファンド(以下、マザーファンド)は、毎年2,5,8,11月の3ヵ月毎に組入銘柄の見直しと組入比率の調整(リバランス:等金額投資)を行います。
- ルールに基づき、2月15日に取得したデータをもとに、16日からリバランスを実施しました。
- 当レポートでは、2021年11月のリバランス以降のパフォーマンスの状況、2022年2月のリバランスの内容について、ご報告します。

## 【2021年11月リバランスからの基準価額の動き】

### 不安定な市場環境の中、分配金再投資基準価額の下落率は参考指数よりも小幅

2021年11月のリバランス開始前日(11月16日)から2022年2月のリバランス開始直前(2月15日)まで、当ファンドの**基準価額(分配金再投資基準価額)**は**4.2%下落**しました。しかし同期間の参考指数であるJPX日経インデックス400(以下、JPX400)は**6.7%の下落**となり、**参考指数を上回るパフォーマンス**となりました(下左図参照)。

当期間の相場環境では、2022年に入ると米国を始めとする複数の主要中銀で利上げ観測が高まり、低金利を背景にバリュエーションが上昇していたグロース株から、割安に放置されていたバリュー株へ選好が変化しました。このような環境の中で、当ファンドはバリュー株の特徴である、強いキャッシュリッチで配当利回りの高い銘柄へ投資しているため、参考指数をアウトパフォームしたと見られます。

## 【2月のリバランスのポイント】

### 機械やサービス業などの構成比が増加、電気機器や小売業などの構成比が減少

今回のリバランスでは、配当予想の引き下げや株価上昇により予想配当利回りが低下した銘柄を売却し、増配や株価の下落から予想配当利回りが相対的に高くなった銘柄へ入れ替えました。その結果、業種構成比の変化では、**機械やサービス業**などの構成比が増加し、**電気機器や小売業**などの業種は減少しました(下右図参照)。

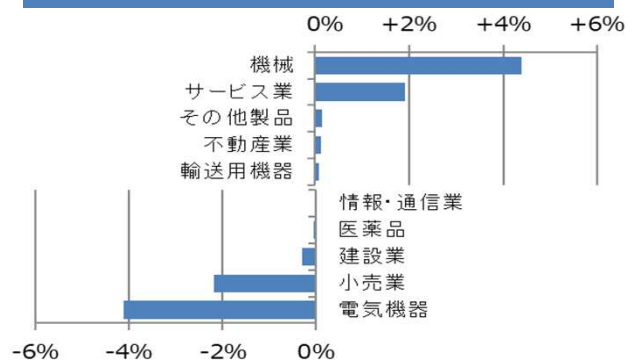
分配金再投資基準価額と参考指数

[2021年11月16日～2022年2月15日、日次]



- ※分配金再投資基準価額、JPX日経インデックス400は2021年11月16日を10,000円としています。
- ※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ※JPX日経インデックス400は参考指数であり、ファンドのベンチマークではありません。
- ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

業種別構成比の変化



【2022年2月21日現在】

※グラフは組入業種のマザーファンドの純資産総額に対する比率の変化を表し、変化幅上位・下位5業種のみを示しています。

※グラフは、2月15日から2月21日にかけての構成比の変化を示しています。

(出所)Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)  
追加型投信／国内／株式

【当面の市場環境と優良好配当銘柄の見通し】

バリュー株がグロース株に優位な展開が続くと予想

年明け以降米国を始めとする複数の主要中銀で、インフレの上昇に対応した利上げ観測が高まり、金利上昇・株式市場の調整が進みました。そして株式市場の中をバリューとグロースという観点で見ると、バリュー株が大きくグロース株にアウトパフォームしている事がわかります（下左図参照）。

ただ中期的なバリュー・グロースの格差を見ると、足元のバリュー株の上昇を受けても、格差がコロナショック前の水準に戻った程度となっています。インフレ懸念を背景に主要国で金利に上昇圧力がかけやすい環境が続くと見られる中、バリュー株を物色する動きはまだ続くと考えています。

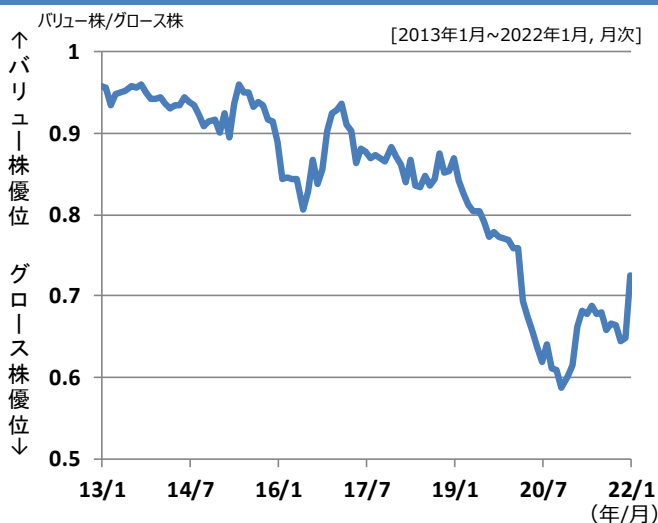
相場の不透明要因が複数存在する中、安定性重視の選別色が強まる可能性

相場の不透明要因として金利上昇が年初からの懸念となってきましたが、足元ではロシアやウクライナをめぐる地政学リスクの高まりも不透明要因として浮上してきています。そしてこの環境を受けて、株式市場・債券市場ともにオプション価格から算出された予想変動率（ボラティリティ）の上昇が見られています（下右図参照）。このような不透明要因が多い局面では、投資家のリスク志向は弱まりやすく、安定性を求めて財務面や業績面で銘柄の選別色が進むと考えられます。

バリュー株としての高い配当利回り、安定性としてのキャッシュリッチ

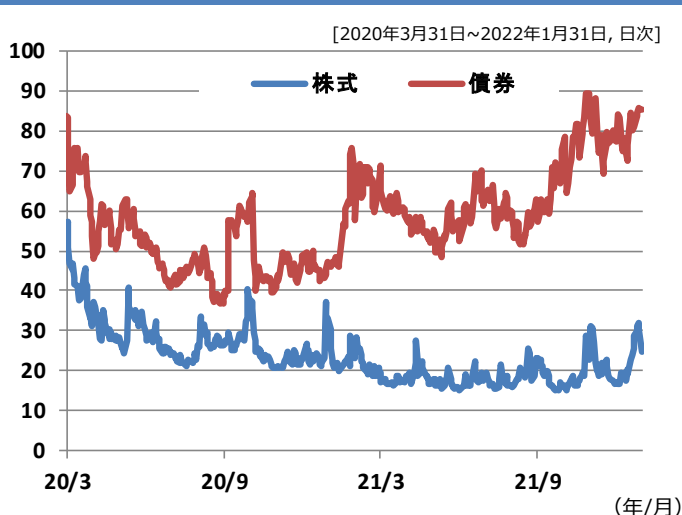
当ファンドでは、クオリティが高く好配当利回りと判断される銘柄への投資を行っており、高クオリティの要素として、ネットキャッシュ比率の観点を考慮しています。投資対象とする銘柄は、金利が上昇する局面ではバリュー株として配当利回りの高さが評価されると見られる一方、地政学リスクの高まる場面ではネットキャッシュの高さといった財務の安定性が評価されると見られます。そのため、足元の市場環境では当ファンドのパフォーマンスを下支えすると見ています。

バリュー株・グロース株格差



※バリュー株指数はTOPIX500バリュー指数、グロース株指数はTOPIX500グロース株指数を用いています。  
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

米国株・米国債券の予想変動率



※株式はVIX指数、債券はMOVE指数を用いています。  
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所)Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

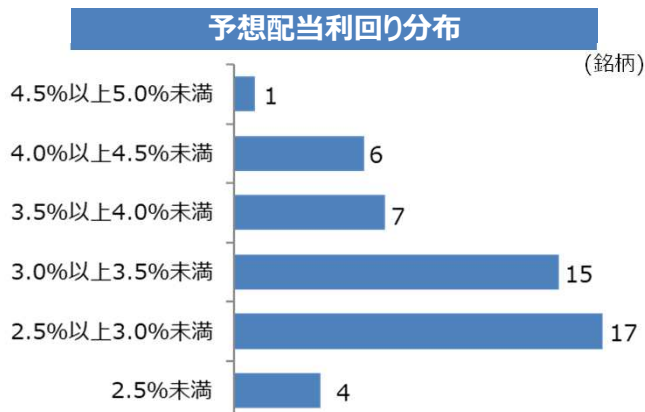
優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)  
追加型投信／国内／株式

ファンドの状況

【2022年2月21日現在】



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。  
※基準価額は設定日前営業日を1万口当たりの当初設定元本として載せています。  
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。



マザーファンド	
株式組入比率	98.2%
短期金融商品その他	1.8%
組入銘柄数	50 銘柄
予想配当利回り(加重平均)	3.2%
JPX400利回り(加重平均)	2.3%

優良好配当・日本株式ファンド	
基準価額	10,087 円
残存元本	3,454,531,754 口
純資産総額	3,484,674,246 円
マザーファンド組入比率	99.9%
実質株式組入比率	98.2%
短期金融商品その他	1.8%

分配金の実績	
第1期(2020年4月13日)	125 円
第2期(2020年10月12日)	105 円
第3期(2021年4月12日)	160 円
第4期(2021年10月11日)	120 円

※分配金は1万口当たり(税引前)です。

業種別の組入銘柄数		
順位	業種名	組入銘柄数
1	機械	6
2	建設業	5
2	化学	5
2	電気機器	5
2	サービス業	5
6	医薬品	4
6	輸送用機器	4
6	情報・通信業	4
9	卸売業	3
10	精密機器	2
10	その他製品	2
10	不動産業	2
13	他3業種	各1

(出所)Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)  
追加型投信／国内／株式

【2022年2月21日現在】

## マザーファンドの組入銘柄一覧（銘柄コード順）

	銘柄コード	銘柄名	業種		銘柄コード	銘柄名	業種
1	1719	安藤・間	建設業	26	5929	三和ホールディングス	金属製品
2	1721	コムシスホールディングス	建設業	27	6035	アイ・アールジャパンホールディングス	サービス業
3	1861	熊谷組	建設業	28	6113	アマダ	機械
4	1878	大東建託	建設業	29	6134	FUJI	機械
5	1928	積水ハウス	建設業	30	6136	オーエスジー	機械
6	2121	ミクシィ	サービス業	31	6235	オプトラ	機械
7	2670	エービーシー・マート	小売業	32	6361	荏原製作所	機械
8	2784	アルフレッサ ホールディングス	卸売業	33	6432	竹内製作所	機械
9	3107	ダイワボウホールディングス	卸売業	34	6448	ブラザー工業	電気機器
10	3116	トヨタ紡織	輸送用機器	35	6503	三菱電機	電気機器
11	3291	飯田グループホールディングス	不動産業	36	6670	MCJ	電気機器
12	3738	ティーガイア	情報・通信業	37	6952	カシオ計算機	電気機器
13	3932	アカツキ	情報・通信業	38	6971	京セラ	電気機器
14	4042	東ソー	化学	39	6988	日東電工	化学
15	4182	三菱瓦斯化学	化学	40	7202	いすゞ自動車	輸送用機器
16	4206	アイカ工業	化学	41	7270	SUBARU	輸送用機器
17	4452	花王	化学	42	7313	テイ・エス テック	輸送用機器
18	4503	アステラス製薬	医薬品	43	7575	日本ライフライン	卸売業
19	4521	科研製薬	医薬品	44	7717	ブイ・テクノロジー	精密機器
20	4523	エーザイ	医薬品	45	7729	東京精密	精密機器
21	4578	大塚ホールディングス	医薬品	46	7956	ピジョン	その他製品
22	4704	トレンドマイクロ	情報・通信業	47	7974	任天堂	その他製品
23	4768	大塚商会	情報・通信業	48	8850	スターツコーポレーション	不動産業
24	4849	エン・ジャパン	サービス業	49	9744	メイテック	サービス業
25	5393	ニチアス	ガラス・土石製品	50	9787	イオンディライト	サービス業

※赤字は2月リバランスで新たに組み入れた銘柄

### JPX日経インデックス400の著作権等について

「JPX日経インデックス400」は、株式会社日本取引所グループ及び株式会社東京証券取引所（以下、総称して「JPXグループ」といいます。）並びに株式会社日本経済新聞社（以下、「日経」といいます。）によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」自体及び「JPX日経インデックス400」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。

「JPX日経インデックス400」を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、全て「JPXグループ」及び「日経」に帰属しています。

当ファンドは、投資信託委託業者等の責任のもとで運用されるものであり、「JPXグループ」及び「日経」は、その運用及び当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。

「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。

「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」の構成銘柄、計算方法、その他「JPX日経インデックス400」の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。

（作成：運用本部）

#### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)  
追加型投信／国内／株式

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。  
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時  
購入時手数料：購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時  
換金手数料：ありません。  
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中  
運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.364%（税抜1.24%）
- その他費用・手数料  
監査費用：純資産総額×年率0.011%(税抜0.01%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

### 販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

**<本資料に関するお問合わせ先>**

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)